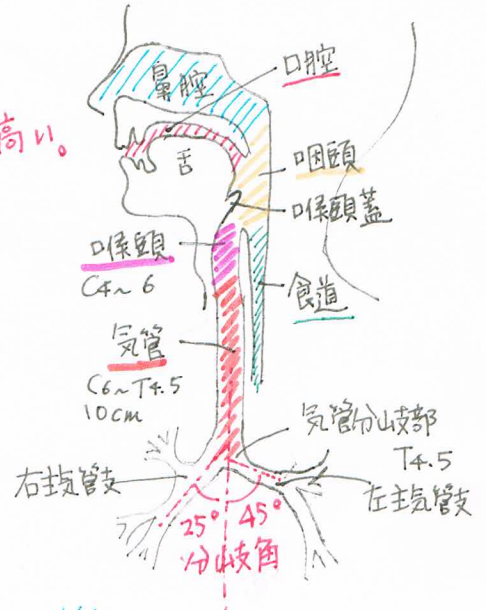


解剖学：呼吸器

41-016 正しいのはどれか。

1. 食道は気管の前面にある。 **後面**
2. 横隔膜は右側が左側より高い。 **右側に肝臓があるため右側が高い。**
3. 気管は心臓の前面に位置する。 **後面**
4. 気管分岐部は約 90° の角をなす。 **70° (右 25° , 左 45°)**
5. 左肺は **3** 葉、右肺は **2** 葉に分かれる。



42-017 正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 左肺は **3** 葉、右肺は **2** 葉に分かれる。 **右肺に比べて小さい。**
2. 気管支は心臓の前面に位置する。 **後面**
3. 気管は食道の前面にある。
4. 右気管支の分岐角は左気管支の分岐角より大きい。
5. 横隔膜は右側が左側より高い。 **小さい**

💡 右主気管支太短。化膿料が急なため、誤嚥した異物は右へ入りやすい。左主気管支は細長。

44-017 正しいのはどれか。

1. 気管は食道の背側に位置する。 **第4(5)胸椎**
2. 気管は第2胸椎の高さで左右に分岐する。
3. 気管支は心臓の前面で肺に入る。 **後面**
4. 気管支の最末梢は区域気管支である。 **終末細気管支**
5. 気管支周辺には多数のリンパ節がある。 **外敵の侵入を防ぐため多数のリンパ節がある。**

💡 気管支
主気管支
↓
葉気管支(右は3本、左は2本)
↓
区域気管支
↓
気管支枝
↓
細気管支
*気管支の最末梢は終末細気管支

45-P-058 正しいのはどれか2つ選べ。

1. 気管支には線毛がある。
2. 気管支の分岐角は左より右が大きい。 **小さい**
3. 細気管支でガス交換が行われる。 **肺胞**
4. 壁側胸膜が肺表面に接している。 **肺胸膜(臓側胸膜)**
5. 縦隔には食道が通っている。

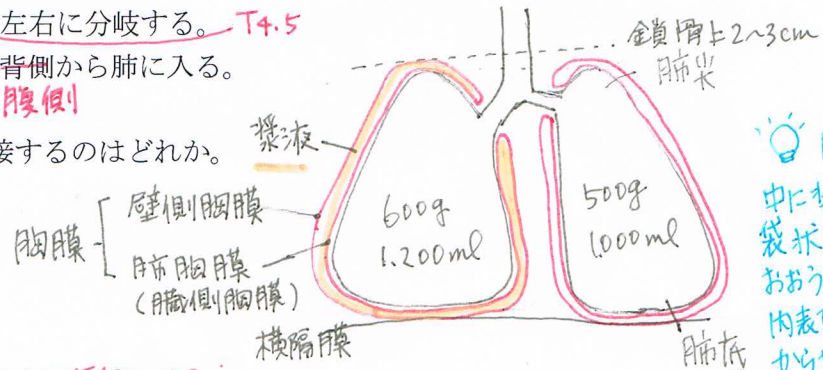
左右の肺と肺の間は縦隔という。

46-A-058 気管について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 気管は食道の背側にいる。 **腹側**
2. 気管分岐角は約 70° である。
3. 右主気管支は左主気管支よりも太い。
4. 気管は第2胸椎の高さで左右に分岐する。 **T4.5**
5. 左主気管支は胸大動脈の背側から肺に入る。 **腹側**

47-P-057 左肺の内側面が接するのはどれか。2つ選べ。

1. 食道
2. 奇静脈 ... **右肺**
3. 大動脈弓
4. 上大静脈 ... **右肺**
5. 下大静脈 ... **右肺**



これらは右側にある。

💡 胸膜
中に漿液を入れる2重の袋状の膜で、肺表面とおおう肺胸膜と、胸壁の内表面をおおう壁側胸膜からなる。
呼吸に伴う肺の摩擦をなくすことのできる。
肺門は、おおわない。

48-A-059 呼吸器について正しいのはどれか。

1. 咽頭は C7~C8 の高さにある。C2~C4
2. 輪状軟骨は弾性軟骨である。硝子
3. 成人の喉頭から気管支までの距離は 20~25cm である。
4. 気管の延長線に対する気管支の分岐角度は右より左の方が大きい。
5. 終末細気管支は肺泡に開口する。

呼吸細気管支 → 肺胞管 → 肺泡とつながる。

* 気道 = 空気の通り道

{ 上気道 - 鼻腔(口腔) ~ 咽頭(喉頭)
下気道 - 気管 ~ 終末細気管支

49-P-058 呼吸器について正しいのはどれか。

1. 上気道とは鼻腔から咽頭までのことをいう。
2. 終末細気管支分岐の次は肺泡である。
3. 気管支は右より左の方が太く短い。細く長い。右が太く短い。
4. 輪状軟骨は弾性軟骨である。硝子
5. 左肺門は右より高位である。左側に心臓があるため、左肺門がわずかに高い。

50-A-058 胸部の解剖について正しいのはどれか。

1. 縦隔の後面は心臓である。前面
2. 肺の栄養血管は肺動脈である。気管支動脈 ※ 肺動脈は、肺でガス交換するための機能血管である。
3. 区域気管支は左右 10 本ずつある。肺区域に対応し、右肺では 10 本、左肺では 8~9 本ある。
4. 第 3 肋骨は胸骨柄と関節を形成する。
5. 臓側胸膜と壁側胸膜は連続している。連続して中に漿液を含む。

第1,2肋骨

